

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月15日

協議会名: 諏訪市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内ライダーゲ—系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
■事業者名: ・アルピコ交通株式会社 ■運行系統名: ○茶臼山四賀線 ○すわっこランド上社有賀線	■区間 ○茶臼山四賀線 ・四賀神戸⇄上諏訪駅西口・中町⇄茶臼山 ・四賀神戸⇄上諏訪駅西口・湯の脇⇄茶臼山 ○すわっこランド上社有賀線 ・すわっこランド⇄有賀先回り・上諏訪駅西口⇄すわっこランド ・すわっこランド⇄洪崎先回り・上諏訪駅西口⇄すわっこランド ■運行回数 ・原則、毎日運行 ■運休日 ・諏訪湖祭湖上火大会当日 ・全国新作花火競技大会当日 ・諏訪湖マラソン大会当日	■前回同様、市民に対する公共交通の周知活動を実施した。 ■諏訪市のコミュニティバスである「かりんちゃんバス」時刻表(平成26年10月改正/平成28年9月第3版増刷)の積極的な配布、「広報すわ」を活用した利用案内、高校生へのチラシ配布(市内高校3、県立中学校1)により、公共交通の利用を促した。	A ■計画に位置付けられた事業は計画どおり適切に実施された。	■かりんちゃんバス大和四賀旧道線は、開設当初からの目標値(3.0人/便)を維持し、4.9人/便と目標値を達成することができたが、H26年10月ダイヤ路線改正に伴う減便(茶臼山四賀線:14便⇒12便、すわっこランド上社有賀線:9便⇒6便)の影響により、計画全体の目標を達成することができなかった。 ■かりんちゃんバス5系統利用者実績:補助対象期間中、362日、14,565便、乗車人数:95,045人(H28.10-H29.9)	■次年度以降は、乗降調査及び利用者ニーズ調査をベースに構築した平成29年10月ダイヤ路線改正の新路線での運行となる。 ■目標値の維持及び向上に向け、市内で運行する公共交通全体の利用促進を図り、市民に対しての出前講座や公共交通の周知活動を継続的に実施する。 ■また、併せて地域公共交通支援団体や民間活力を最大限に活用した新たな取り組みを展開することにより、利用促進を図る。
■事業者名: ・諏訪交通株式会社 ・アルピコタクシー株式会社 ・第一交通株式会社 ■運行系統名: ○かりんちゃんバス大和四賀旧道線	■区間 ・聖母寮前⇄神戸公民館前⇄聖母寮前 ■運行回数 ・1日4.5往復 ・原則、毎日運行 ■運休日 ・諏訪湖祭湖上火大会当日 ・全国新作花火競技大会当日 ・諏訪湖マラソン大会当日		B ■計画に位置付けられた事業は計画どおり適切に実施された。		

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年1月15日

協議会名：	諏訪市地域公共交通協議会
評価対象事業名：	地域内ファイダーシステム確保維持国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>諏訪市内のバス路線は、国道20号線に補助対象地域間幹線系統に位置付けられる本線(岡谷・茅野線)があり、市内を循環するコミュニティバスとして「かりんちゃんバス」とアルピコ交通自主路線の「かりんちゃんライナー」、また諏訪湖周には湖周3市町で共同運行する「スワンバス」が定時定路線として存在し、平坦地の公共交通をカバーしている。また、バス路線廃止に伴う公共交通空白地域を避けるため、乗合タクシーのデマンド運行を実施し、平坦地とのアクセスを考慮することで、利便性向上を図っている。</p> <p>一方で、大和・四賀地区の旧甲州街道沿線地区は、道路が狭隘であるため通常のバスの乗り入れが困難であり、市の公共交通政策において大きな懸案となっていた。</p> <p>そのため、更なる地域間連携の強化や交通弱者に対する利便性の向上を図るため、本線(岡谷・茅野線)へ接続する地域内ファイダーシステムとして「かりんちゃんバス」と9人乗りの車両による「かりんちゃんバス大和四賀旧道線」を確保、維持する必要がある。</p>